

【 2 文化財保護事業】

(1) 文化財の保存管理

ア 指定文化財及び登録文化財件数 (令和 6 年 3 月末現在) (単位: 件)

種別	有形文化財						民俗文化財		記念物		計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	古文書	有形民俗 文化財	無形民俗 文化財	史跡	天然 記念物	
国指定	1	1	2	0	0	0	0	0	2	1	7
県指定	9	1	2	2	2	0	0	3	2	8	29
市指定	2	2	8	4	3	6	1	6	10	8	50
国登録有形 文化財	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
計	17	4	12	6	5	6	1	9	14	17	91

イ 文化財の保存活用

- ・国指定史跡諏訪原城跡整備事業 (大手曲輪堀の基本設計、園路整備)、諏訪原城跡整備委員会の開催
- ・国指定史跡島田宿大井川川越遺跡整備事業 (街道の舗装工事)、大井川川越遺跡整備委員会の開催
- ・牧之原公園のカタクリ園公開事業

(2) 文化財保護審議会

ア 文化財保護審議会委員 任期(令和 5 年 5 月 1 日～令和 7 年 4 月 30 日)

氏名	担当分野	氏名	担当分野
黒田 勝久	史跡	菅 功	天然記念物
柿本 恵子	民俗	中村 政次	天然記念物
杉浦 芳治	美術工芸	新妻 淳子	建造物
杉山 和佳	民俗・書跡	諸田 昌孝	歴史分野全般

文化財保護審議会は、市長の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議する。委員は学識経験を有する者及び関係行政機関のうちから市長が委嘱する。(島田市文化財保護審議会条例第 2 条及び第 3 条)

イ 文化財保護審議会の活動

月日	種別	内 容
8 月 17 日	報告事項	令和 5 年度 文化財事業について 島田市文化財保存活用地域計画について
1 月 24 日	報告事項	令和 5 年度 文化財事業の実績について 令和 6 年度 文化財事業について

(3) 文化財調査

ア 埋蔵文化財発掘調査

遺 跡 名 称		調査面積	内 容
緊急確認調査 3 件（補助金）			
1	医王寺南遺跡	12 m ²	確認調査 山茶碗 遺構なし
2	鵜田古墳群	12 m ²	確認調査 遺物なし 古墳 1 基
3	島田宿大井川川越遺跡		報告書作成

イ 市内遺跡発掘調査事業報告

例 言

1. 本報告は、令和 5 年度に国・県より補助金を申請して令和 5 年 4 月 3 日より令和 6 年 3 月 2 9 日まで実施した市内遺跡発掘調査事業の報告である。

2. 調査を実施した遺跡名は以下のとおりである。

- | | | | |
|---|--------|------|--------|
| 1 | 医王寺南城跡 | 確認調査 | 個人住宅建設 |
| 2 | 鵜田古墳群 | 確認調査 | 道路拡張工事 |

3. 事業を実施するにあたり、下記の方々にご理解とご協力をいただいた。
(株)一条工務店 原崎 勉 島田市建設課 鵜田寺

4. 調査に関する事務処理は島田市観光文化部博物館課が行った。

調査体制

観光部長 鈴木明宏 課 長 松下弘希 課長補佐 大谷哲也

係 長 萩原佳保里 学芸員 坂巻隆一

調査担当 篠ヶ谷路人

会計年度任用職員（整理作業担当） 大石久恵

現地作業員 渡邊 馨 増本 修 大塚 武 一言弘之

1. 医王寺南遺跡確認調査

調査理由 個人住宅建設に伴う確認調査

所在地 島田市船木南 2 4 6 7 番 1

調査期間 令和 6 年 2 月 2 5 日から 2 月 2 6 日

調査面積 1 2 m²

調査概要 医王寺南遺跡は、曹洞宗松原山医王寺が建てられている台地の南側平坦地が周知され、奈良・平安時代の瓦が採集されたことから、古代の寺院関連の遺跡があると考えられている。

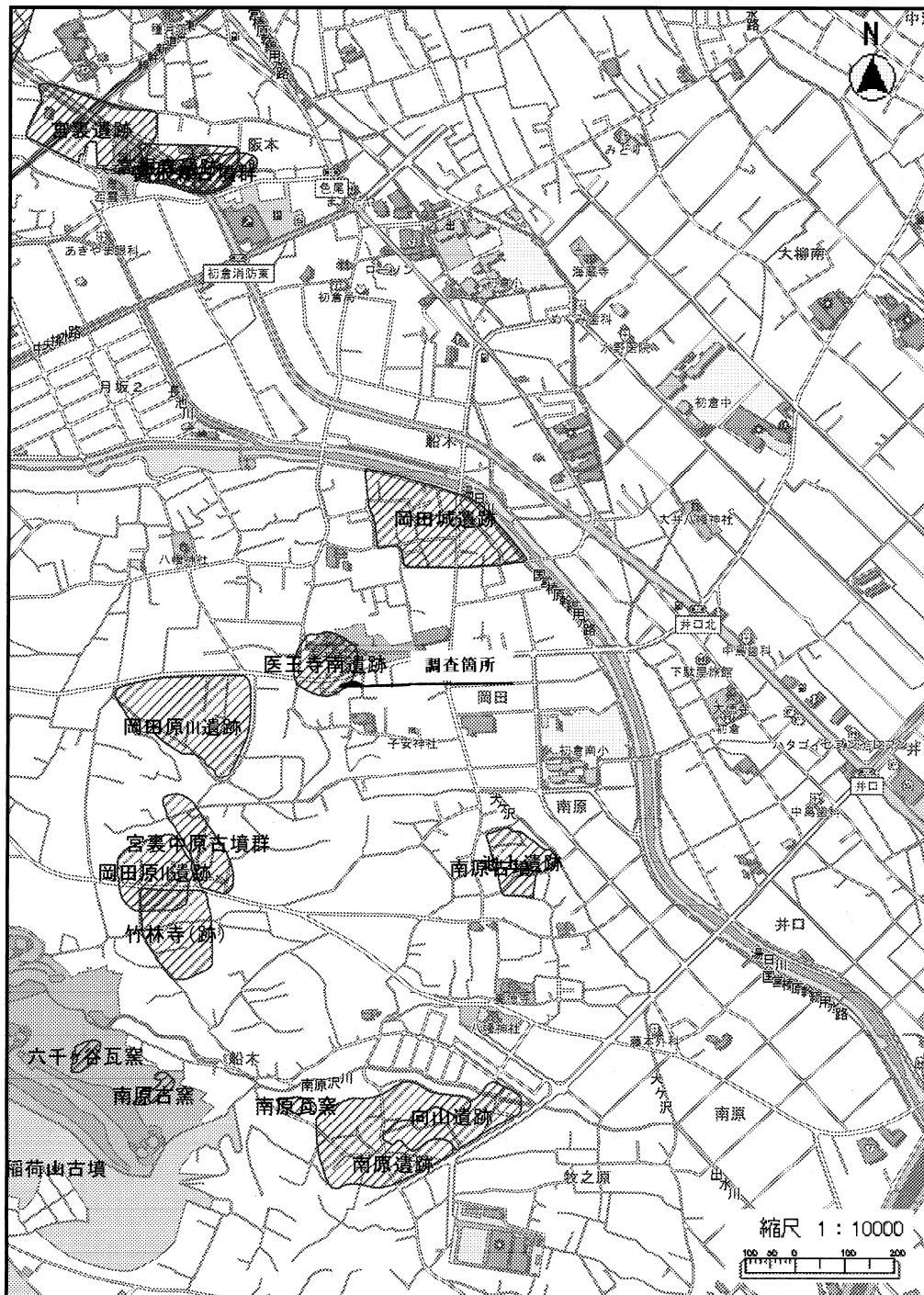
今回、医王寺駐車場から道路を隔てた南側の畑にて個人住宅建設の計画があり、3本のトレンチを入れて重機により表面の土を除去し、遺構・遺物の有無を調査した。

調査結果 3本のトレンチを入れたところ、表土から 20 c m ほどで黄褐色土の遺構確認面が表れた。遺構を確認の有無を調べたが、遺構らしき痕跡は発見されなかった。敷地内より鎌倉時代の山茶碗破片 1 点を採集した。

今回調査した箇所は、東側隣接地より 40 c m ほど下がっている。これは以前畑の造成により削平されたと考えられ、このとき遺跡があったかも知れないが、滅失したことが想定される。

調査箇所

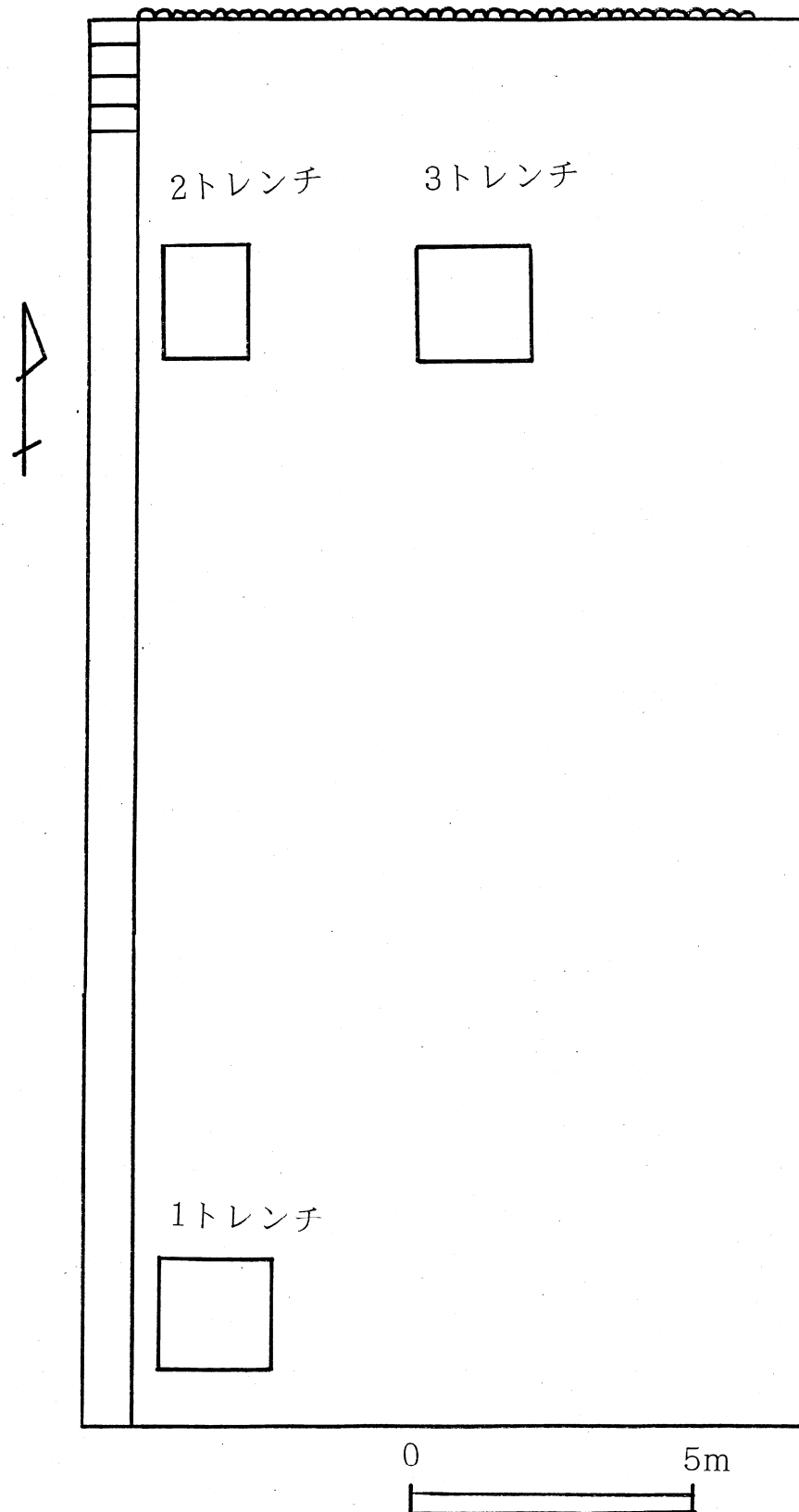




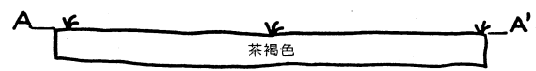
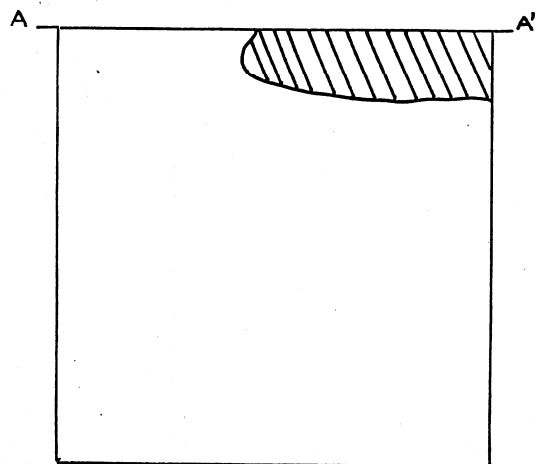
この図面は位置的なものを示すものであり、権利関係には使用できません。

印刷日付：2024年02月14日

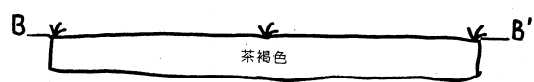
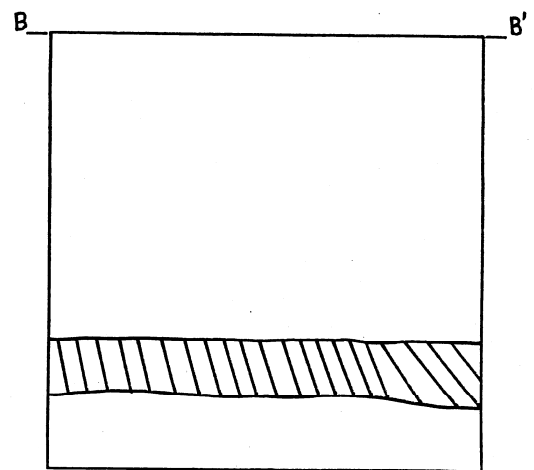
医王寺南遺跡確認調査トレンチ配置図



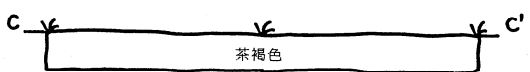
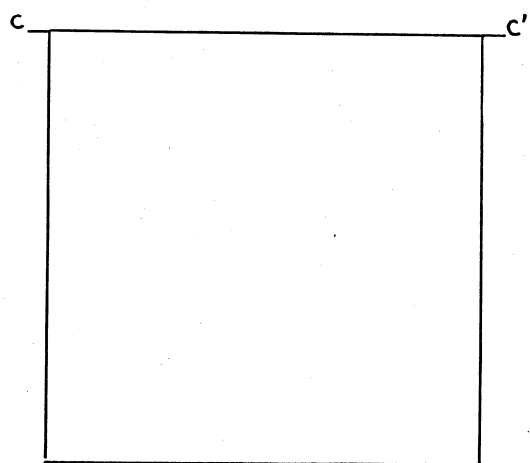
医王寺南遺跡確認調査トレンチ実測図



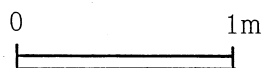
1トレンチ



2トレンチ



3トレンチ





医王寺南遺跡確認調査風景



1 トレンチ遺構確認状況（耕作により一部攪乱）



2 トレンチ遺構確認状況（中央やや右側は茶木の根により細長く攪乱）



3 トレンチ遺構確認状況（手前は細長く茶木により攪乱）

2. 鵜田古墳群確認調査

調 査 理 由 道路拡張に伴う確認調査

所 在 地 島田市野田 1 1 4 5 - 2、1 1 4 6、1 1 4 7

調 査 期 間 令和 6 年 3 月 5 日から 3 月 2 9 日

調 査 面 積 1 2 m²

調 査 概 要 鵜田古墳群は、真言宗古刹鵜田寺裏山に約 15 基分布する古墳時代後期の古墳群である。昭和 47 年 4 月 8 日から 5 月 21 日にかけて島田市民体育館(現ローズアリーナ)建設に伴う取付道路建設工事により 2 基の古墳が発掘された。古墳は横穴式石室の後期タイプで土器類・太刀・琥珀製の玉などが出土している。

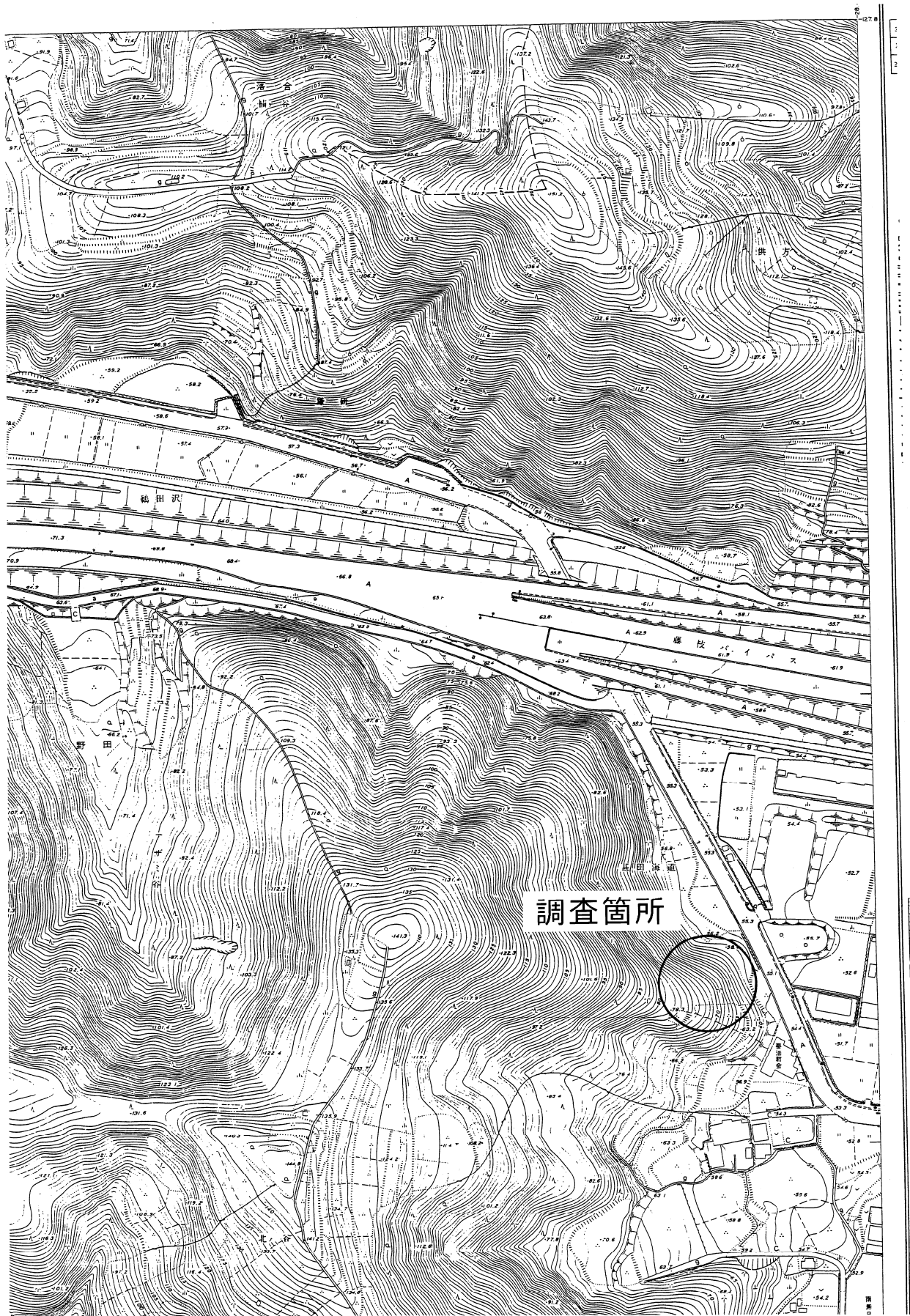
今回、取付道路の拡張工事が計画され、拡張範囲の古墳の有無について確認調査を実施した。

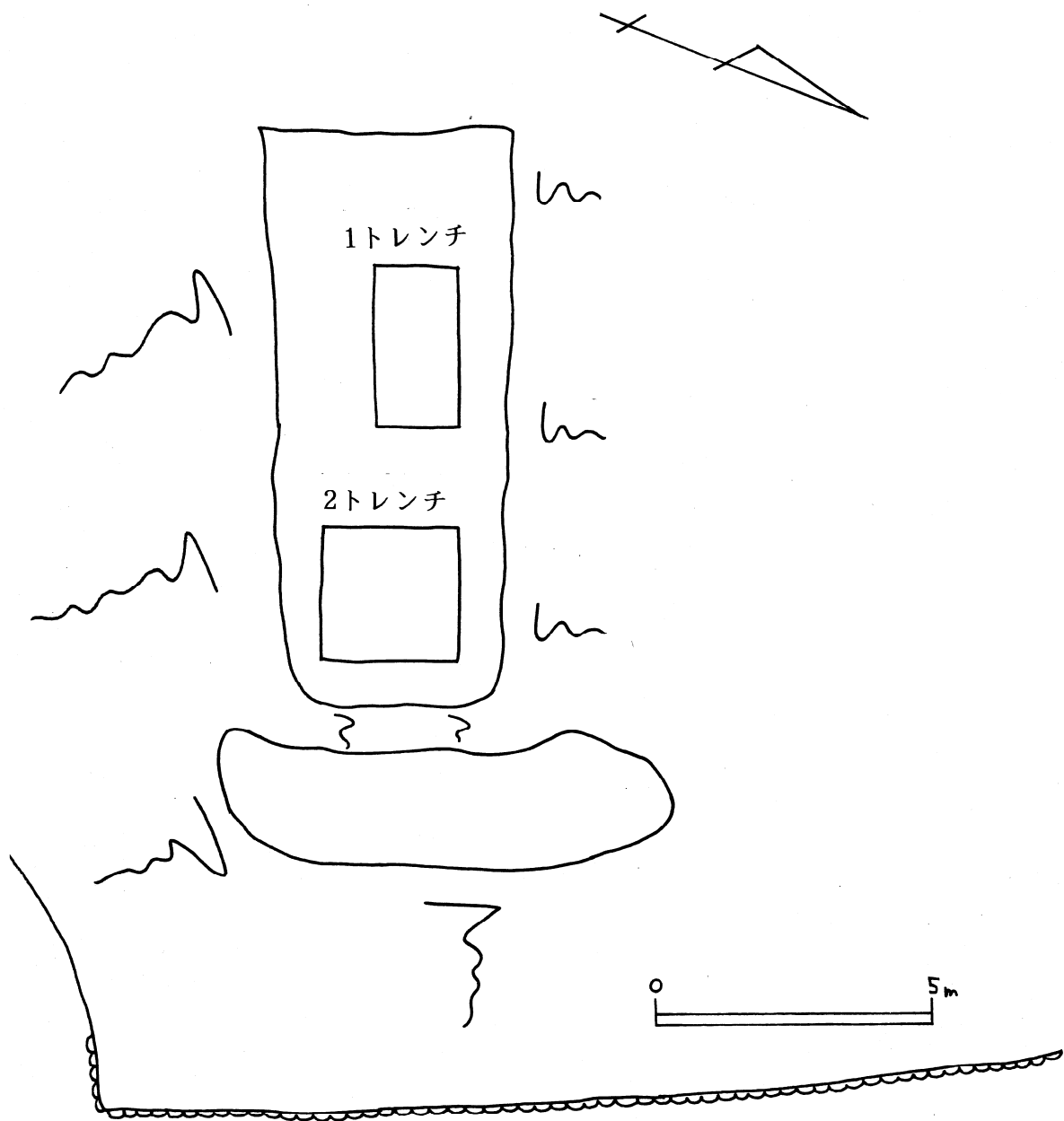
調 査 結 果 2 本のトレンチを入れて確認調査を実施したところ、1 基の横穴式石室の古墳を確認した。石室は奥壁・側壁・封鎖石などを確認し、石室の長さは 3.5m、幅は 1 m である。

昭和 47 年に調査を担当された大塚淑夫先生に現地を確認していただいたところ、当時踏査により確認していた 3 号墳であることが判明した。また、さらに南側に天井石が外され石室の一部が露出している古墳を発見、こちらも 4 号墳であることが判明した。

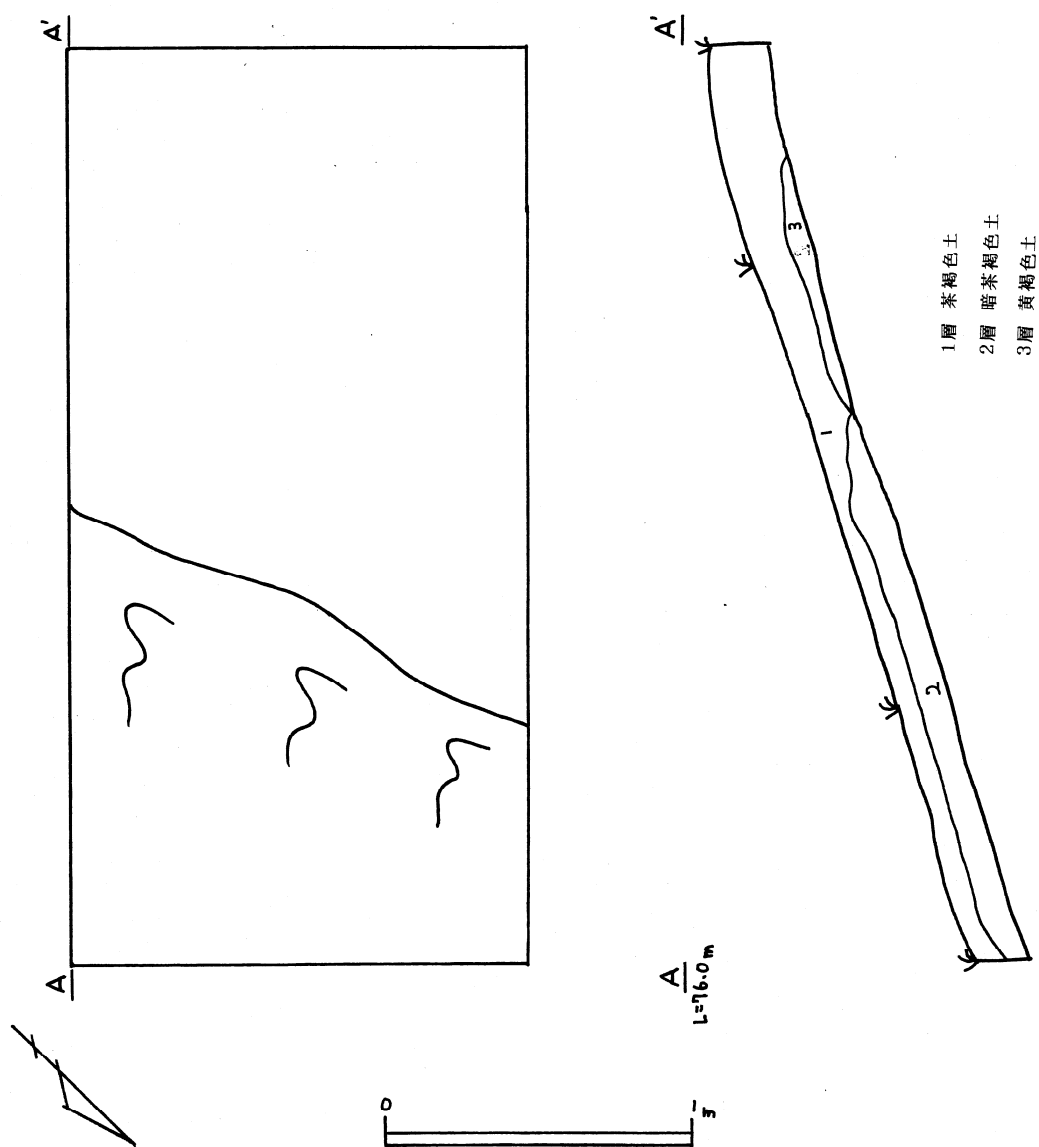
3 号墳は工事対象区に該当するが、建設課と協議し、調査対象から除外する方向で検討している。



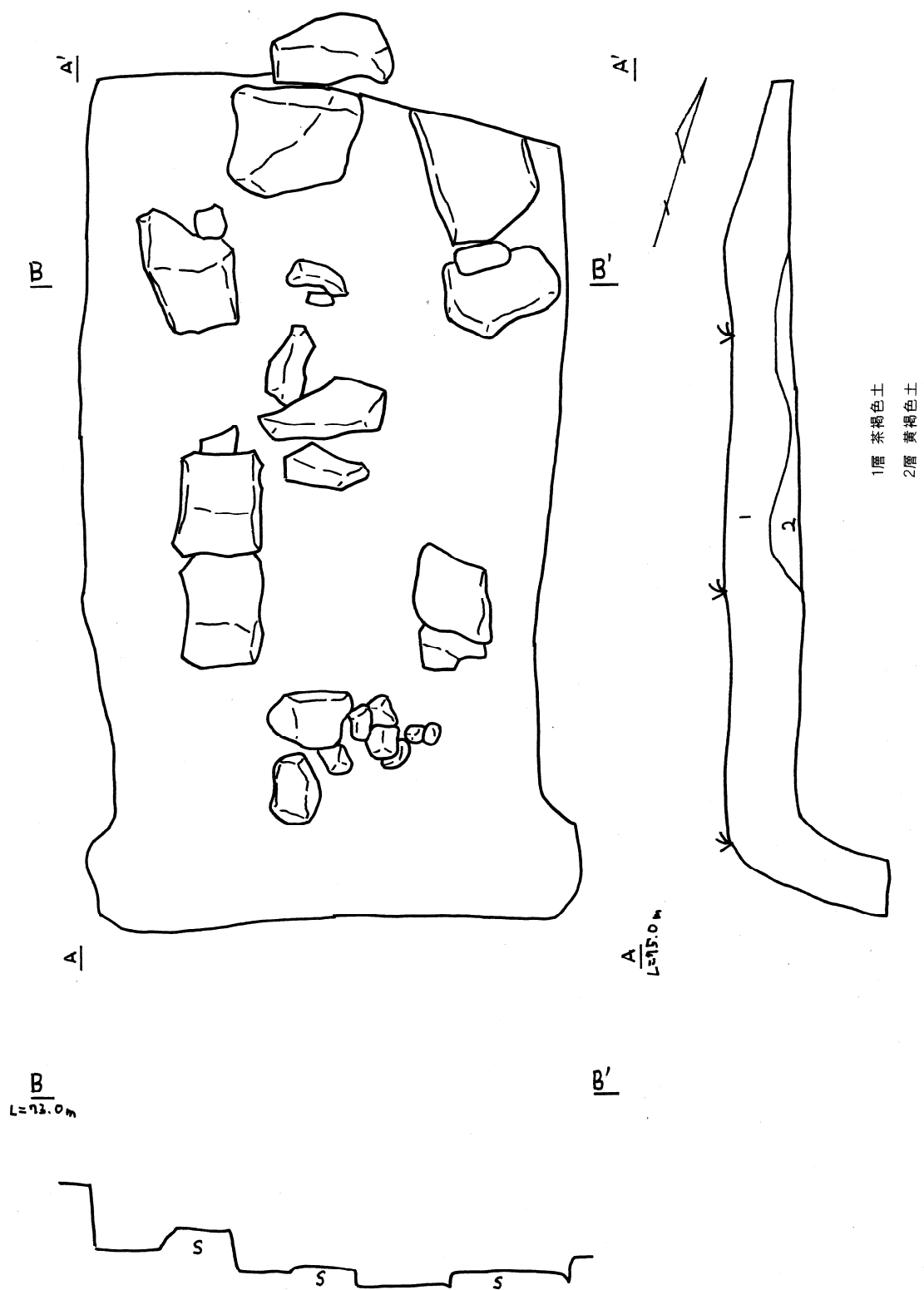




鵜田古墳群トレンチ配置図



鵜田古墳群確認調査1トレンチ実測図



鵜田古墳群確認調査2トレンチ実測図



鵜田古墳群確認調査風景（手前が1トレンチ、奥が2トレンチ掘削状況）



1 トレンチ完掘状況（遺構・遺物は確認されなかった）



2 トレンチ 3 号墳確認状況(幅 1 m・長さ 3.5m の小型古墳を確認した)



4 号墳確認状況(周辺を散策したところ、天井石が外された 4 号墳を確認した)

(4) 啓発活動

ア 出前講座・講演会等

月 日	曜日	内 容	受講団体	参加人数
6 月 28 日	水	島田市の埋蔵文化財	五和小学校	55 人
7 月 19 日	水	中部地区社会教育委員連絡協議会志太地区社会教育委員研修会	中部地区社会教育委員連絡協議会 (島田市教育委員会社会教育課)	40 人
7 月 31 日	月	諏訪原城応援隊イベント チャンバラ合戦	—	44 人
8 月 27 日	日	色尾・旧初ふるさと探訪	初倉郷土史研究会	58 人
9 月 11 日	月	令和 5 年度 初倉中 1 年生 地域探訪	初倉中学校	121 人
9 月 22 日	金	大井川の川越しについて	第一小学校	31 人
9 月 30 日	土	令和 5 年度 みはま郷育プログラム国吉城歴史講座	—	35 人
10 月 20 日	金	駿河山遺跡について	金谷郷土史会	10 人
10 月 29 日	日	リバティマラソン大会城ブース出店	—	推定 3,400 人
11 月 3 日	金	第 5 回 和菓子バル	—	3,000 人
11 月 4 日	土	大津ふれあいまつり	大津自治会	100 人
11 月 7 日	火	諏訪原城について	五和小学校	28 人
11 月 20 日	月	諏訪原城について	五和小学校	28 人
12 月 10 日	日	諏訪原城築城 450 年記念シンポジウム	—	533 人
12 月 16 日 ～17 日	土 日	お城 EXP02023	—	18,088 人
1 月 7 日	日	島田市の埋蔵文化財	—	40 人

1 月 20 日	土	「大津のあけぼの」について	大津農村改善センター	15 人
2 月 23 日	金	天皇について	—	60 人
2 月 24 日	土	島田市の一般文化財	サタデーオープンスクール	9 人
3 月 9 日	日	島田市の一般文化財	サタデーオープンスクール	6 人
3 月 22 日	金	諏訪原城について	大津小学校	6 人
3 月 23 日 ～31 日	土日	カタクリ園公開	—	2,738 人

イ 展示

期間	場所	内容
8 月 31 日～ 9 月 19 日	金谷図書館展示コーナー	「大井川について」

【3 島田市史編さん事業】

島田市史編さん委員、調査協力員

島田市史編さん委員会は、学識経験を有する者、その他適当と認められる者のうちから、市長が委嘱する。古文書を中心とした文化財の保存と活用を図り市民文化の向上に役立てる手助けを担う。具体的には、島田市内における各地域の古文書の収集と解読・整理を行い目録を作成し、それに基づき地域史史料集を編さんした。

市内の古文書調査がほぼ終了したことにより、平成3年度末に活動を休止した。現在は、外部講師1名と元市史編さん委員を中心とした協力者5名により、その後に発見された古文書等の調査を継続している。

令和5年度は初倉地区と大津地区の古文書悉皆調査を外部講師の指導に基づきながら行った。